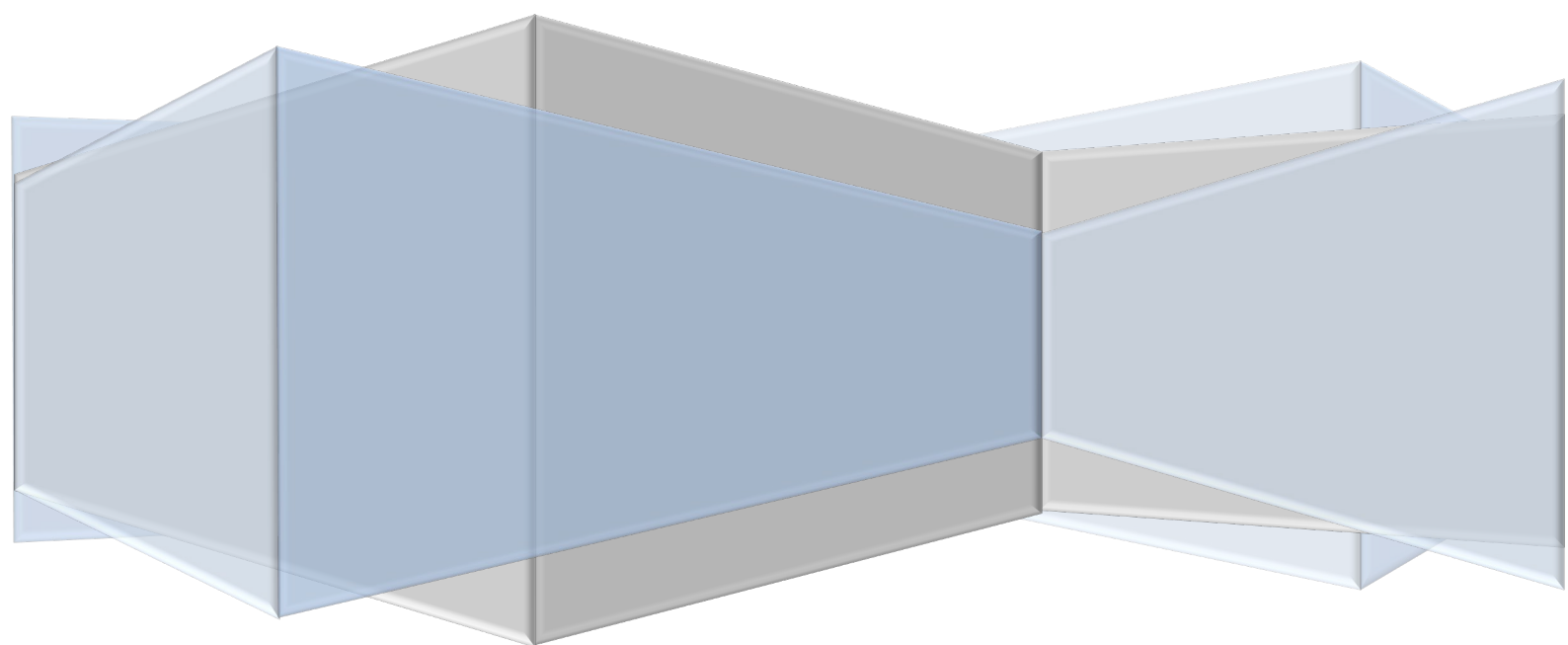


富山大学医療人教育室 2023 年度報告書



医療人教育室報告書 2023 年度

～目次～

室長ご挨拶	-1
I 医療人教育室について	-2
1. 教室概要	
2. 室員紹介	
3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室の設置に関する内規	
II 各分野からの報告	-5
医学科教務委員長 伊藤 哲史	
薬学部教務委員長 久米 利明	
看護学科教務委員長 西谷 美幸	
III 2023 年度活動報告	-8
1. 医療人教育	
2. 医療人教育室運営管理	
1. 医療人教育室運営会議	
2. 広報活動	
IV 2024 年度活動計画案	-10

室長ご挨拶

多職種連携教育による「良き医療人」の養成

－富山大学医療人教育室年次報告書の発刊にあたって－

富山大学医学部と薬学部の前身である富山医科薬科大学における建学の理念は、「里仁為美」（論語）です。「何事にも仁の精神（思いやりの心）を持って取り組むべきである」といった意味になることから、医学部と薬学部は、地域社会とも連携して、思いやりの心を持った「良き医療人」の養成に取り組んできました。

医療人教育室は、学部間協働と教職協働により、思いやりの心を持った「良き医療人」を養成するための組織として設置されました。医療人教育室の主な活動は、①入学から卒業まで一貫した医療人教育の実施、②医学・薬学・看護学の共通教育（「医療学入門」や早期介護体験実習などの多職種連携教育）の実施、③医療人教育のための研修会の実施、④医療人教育に必要なリソースの充実、⑤国際交流に関する人材養成です。

この中で、とくに重要な医療人教育は、医学・薬学・看護学の初年次生を対象とした多職種連携教育である「医療学入門」です。開講からすでに20年以上が経過し、「医療学入門」の内容も社会情勢の変化に対応して変化していますが、思いやりの心を持った医療人としての態度を修得するという教育目標は、開講当初から変更ありません。その目標を達成すべく、医学・薬学・看護学生が、プロフェッショナリズム、コミュニケーション、医療人・患者関係、全人的医療、医療倫理、医療と社会などを、多種多様な背景や専門性をもつ講師のもとで合同学修します。

また、「医療学入門」における早期介護体験実習では、良き医療人となることを志して入学した学生が、入学早期に介護や福祉の現場に出向いて「食事」、「排泄」、「入浴」といった基本的な介護を体験し、現場の方々や利用者の方々と交流するなかで、生きるとは何か、健康とは何か、障がいとは何か、老化とは何かなど、人間の一生について考え、医療人としてのあるべき態度を身に着けます。

こうした教育は、関係者の皆様の御理解と御協力なくしては成立しません。年次報告書の発刊にあたり、医療人教育室の活動に対する皆様の御理解と御協力に、改めて感謝申し上げます。

今後とも、どうぞよろしく申し上げます。

医療人教育室長 関根道和

I 医療人教育室について

1. 教室概要

医療人教育室は、学部教育、医療学教育、医療人教育、国際交流連携などの学務業務を全般に補完し、保健医療分野の人材育成を目的に以下の業務を行っております。

1. 学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価と支援に関する業務
2. 医学・薬学・看護学の共通教育に関連する業務
3. 医療人の教育・研修機会の提供に関する業務
4. 医療・福祉に係わる教育資源の開発、維持、充実に係る業務
5. 国際交流に関連した人材育成に関する業務
6. その他医療人教育に関する業務

2. 室員紹介

室長	関根 道和	医学部長、(医学)疫学・健康政策学 教授
副室長	高村 昭輝	(医学)医学教育学 教授
室員	中野 実	薬学部副学部長、(薬学)生体界面化学 教授
	伊藤 哲史	医学科教務委員長、(医学)システム機能形態学 教授
	西谷 美幸	看護学科教務委員長、(医学)基礎看護学1 教授
	久米 利明	薬学部教務委員長、(薬学)応用薬理学 教授
	石木 学	保健管理センター杉谷分室 准教授

オブザーバー

高橋 知裕	医薬系学務課長
大坂 理美	医薬系総務課係長
森本 ひより	医薬系学務課

事務補佐員

永井 梓

3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室に関する内規

(目的)

第1条 富山大学杉谷キャンパスに、医学、薬学及び看護学の連携の基に医療分野の人材育成を体系的に進めるため、医療人教育の組織化を図ることを目的として、医療人教育室を置く。

(組織)

第2条 医療人教育室は、次の各号に掲げる室員をもって組織する。

- (1) 室長
 - (2) 副室長
 - (3) 医学部教授会及び薬学部教授会（以下、「各教授会」）から選出された教員 若干人
 - (4) その他室長が必要と認めた者
- 2 室長は、医学部長又は薬学部長をもって充てる。
- 3 副室長は、第1項第3号及び第4号の室員のうち、室長が指名する者をもって充てる。

(室員の任期)

第3条 第2条第1項の室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

(業務)

第4条 医療人教育室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価及び支援に関する業務
- (2) 医学、薬学及び看護学の共通教育の連携に関する業務
- (3) 医療人の教育及び研修機会の提供に関する業務
- (4) 医療及び福祉に係る教育資源の開発、維持及び充実にに関する業務
- (5) 国際交流に関連した人材育成に関する業務
- (6) その他医療人教育に関する業務

(称号の付与)

第5条 室員に、次の各号に掲げる称号を付与することができる。

- (1) 医療人教育室教育教授
- (2) 医療人教育室教育准教授
- (3) 医療人教育室教育講師

(称号の付与手続)

第6条 称号の付与は、各教授会の意見を聴いて室長が行う。

(称号付与基準)

第7条 各称号付与の基準は、次に掲げる者で医療人教育に優れた能力を有するものとする。

- (1) 医療人教育室教育教授 10年以上の医療人教育の経験を有する者又は特に優れた医療人教育の経験を有する者
- (2) 医療人教育室教育准教授 6年以上の医療人教育の経験を有する者
- (3) 医療人教育室教育講師 4年以上の医療人教育の経験を有する者

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、医療人教育室に関し必要な事項は、各教授会の意見を聴いて室長が別に定める。

附 記

この内規は、平成18年10月18日から実施する。

附 記

この内規は、平成19年4月1日から実施する。

附 記

この内規は、平成23年6月15日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年6月19日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年9月25日から実施する。

附 記

この内規は、平成26年3月19日から実施する。

附 記

1 この内規は、平成28年1月1日から実施する。

2 この内規実施後、最初に選出される室員の任期は、第3条の規定にかかわらず、平成28年3月31日までとする。

附 記

1 この内規は、令和元年11月27日から施行し、令和元年10月1日から適用する。

2 この内規の施行日の前日において改正前の第2条第1項第3号の室員であった者は、この内規により医学部教授会又は薬学部教授会から選出されたものとみなす。ただし、任期については、第3条の規定にかかわらず、令和2年3月31日までとする。

II 各分野からの報告

「医療学入門」における対面教育の意義を実感した1年

医学科教務委員長 伊藤哲史

医学科・看護学科・薬学科・創薬科学科の1年次学生の合同で行われる「医療学入門」は、入学当初から医療人としての第一歩を踏み出したことを自覚するうえで極めて重要な位置づけとなる科目であり、それとともに職種間の連携体制の意義を理解するよい機会となっています。

今年度はコロナウイルスの流行についてもある程度の見通しを立てることが可能になってきて、対面式の講義実習が可能になりました。この数年間でオンライン教育の有用性も明らかになってきており、オンラインと対面の「良いとこ取り」の教育が実施できたのではないのでしょうか。特に対面での実習の成果は立山研修や介護体験実習での学生の反応を見るに、大きなものであると感じました。

今年の立山研修では、過去3年間たどり着くことができなかった立山室堂に到達することができました。山の天気は変わりやすく、そのために予定より早い時刻で撤収することになりましたが、臨機応変なスケジュールの中で課題をうまく各班がこなしており、学生たちにとって有意義なものになったのではないかと考えます。室堂から戻ってきて、あるペン村での休憩時間での学生たちの打ち解けたさまを見るに、立山研修の前に行われた新入生医療学研修とあわせて、医学科・看護学科・薬学科・創薬科学科の皆さんで横のつながりを作るよい機会になったのではないかと思います。

夏に行われた介護体験実習は、いくつかの施設では中止になってしまったようですが、多くの学生が介護の現場を知ることができたようです。複数の学生のレポートで、介護施設の社会や被介護者に対する意義や、人手不足などの課題が挙げられており、限られた時間で多くのことを吸収することができたことが伝わってきました。その一方で、まだ臨床現場に向かう心構えができていないようなレポートもわずかに見られ、今後も継続して注意深く学生の成長を見守っていきたいと考えています。

その他、チーム医療への関わり方や、患者家族の方からのお話など、例年踏襲されている教育も順調に行うことができました。全般として、担当教員、事務職員や外部講師の皆様のご尽力のお陰で、感染症リスクを抑えつつ、対面教育の良い点をほぼ完全にコロナ前と同様に提供できたのではないかと考えます。今後も良い学修成果に繋がられるよう、医学科としても引き続き協力してまいります。

多職種協働教育として重要な「医療学入門」

薬学部教務委員長 久米利明

本学の薬学教育において「医療学入門」は、薬剤師としての倫理観、職業観を醸成し、患者や医療関係者等との信頼関係を築くための初期教育として高い評価を受けております。特に、将来チーム医療を担う医療系学部学生が「よき医療人」像をイメージできるようにするために、医学部医学科、看護学科、薬学部の全学生が学部横断的に共通の経験、認識を共有し、医療に関わる医学・薬学・看護学の実務者による語りを通して、医療系学生が職種間の連携と将来プロフェッショナル医療人として求められる、人の命の守護者としての基本的態度、適切な支援を行なうことができる技能と知識を身につけるために、救急救命士、介護施設勤務者、看護師、NPO「医療と人権」や富山県難病相談支援センター、薬害患者家族などによる多方面からの充実した講義は、薬害、医療過誤、医療事故の対応やその後の予防策・解決策に関する重要な教育であると考えられます。それに加えて、医学部学生との少人数グループ討議、高齢者医療施設の訪問や介護体験は、実践的かつ総合的なコミュニケーション能力の涵養に重要な位置づけであり、このような取り組みは他ではほとんど類を見ない、本学独自の薬学教育になっています。

昨年度、急遽中止となった立山研修が本年度は復活いたしました。残念ながら、天候には恵まれず、雪が舞う中だったこともあり室堂での散策は予定よりも短時間で終了せざるを得ませんでした。しかしながら、学生からのアンケートでは、立山での野外研修が実施されて良かったとの感想が多く寄せられ、この経験が初年次の行事として非常に貴重なものとなったことが伺えます。この研修は学生たちが異なる環境や状況に適応し、協力し合いながら学ぶ機会となり、積極的な参加や困難に対する前向きな姿勢が、将来の医療現場においても重要となるスキルを培う一助となると考えられます。

本学薬学部への志望動機の一つとして、低学年でのチーム医療を意識した医療系学部での合同科目が存在することを挙げる生徒が増加しており、これは薬学部の教育プログラムにおける特徴的な魅力の一つと考えております。特に、このような合同科目においては、学部を超えた協力やコミュニケーション能力の向上が期待されます。昨年度から始まった薬学部の新カリキュラムにおいても、「医療学入門」は変わらず重要な講義として位置づけられています。この講義の中で、私は医療人教育室の一員として医療学入門に関わりましたが、特に、新型コロナウイルスの影響が続く中で、メンバーの熱意と責任感がより一層際立ち、医療人育成に対する深い信念を感じ入りました。この貴重な「医療学入門」は学部横断的な教育の中核であり、その質の高い内容を継続し、発展させていくことが重要です。微力ながらも、私は学生たちが医療分野でのキャリアを構築するために必要な知識やスキルを身につけ、成長できるよう今後もサポートを続けたいと思います。

看護学教育

看護学科教務委員長 西谷 美幸

看護学教育において、医学部・薬学部合同で学ぶ「医療学入門」は、看護学のフィールドを俯瞰して、「人々の健康にかかわる」医療人の視点から、専門職としての総合的理解や基本的態度等の共通項を押さえる科目である。新入生というまだ分化されないスタートラインから、「人々への健康への寄与」を共通目的として同じ方向を見据え、人々の要請に応えるために、より専門性の高い方向にそれぞれの役割を突き詰めていく。それは、まさに医療人としての歴史を辿っているようでもある。「医療学入門」で展開される講義では、医療人としての理念と社会的な役割、医学・薬学・看護学のそれぞれの目的と役割、医療人のかかわりが必要な人々の思いや実際の生活など、学生が進むその先への覚悟と責任を実感させられる内容がちりばめられている。新入のこの時期に、その同じ体験を同じ場で共有することが、これから協働することになる土台をつくっている。

基礎看護学の立場からみると、「医療学入門」において前述の俯瞰した役割の理解を経て、看護の専門性に焦点を当てていくことになる。「医療学入門」と同時期に、看護学科では「看護学原論」が始まり、そこでは、看護の本質から看護観・健康観・人間観等を示し看護者としての原理を踏まえた捉え方を修得する。その履修後に実施される「介護体験実習」は、人々の生活の場に行き看護観等の視点をもって、そこで生活する人々の思いや実際の生活、支えとなる介護の実際を体験し、その体験を持って、看護観の表現技術である「看護方法論」の授業に入っていく。看護を提供する上で生活への必要な技術となると、できないことへの援助技術となりがちであるが、生活の場で暮らす生活者に合わせた介護の実際を体験することで、必要な人へ必要な方法で必要な範囲（過剰な援助にならない）で実施することが大前提であると理解しやすくなっている。

学生の介護体験実習での学びを実習後のレポートから見ると、「これまで漠然と考えていた介護のイメージと逆で、できることを大事にして、できる力を妨げずに介護することで、利用者が自分で生活できることが増えていく」「相手の思いや背景を知り、かかわり方を変えることによって相手の反応が変化することを目の当たりにして、関係をつくることの難しさと重要性を知った」「命を預かっている、正確に伝える、自ら考えるといった責任感や使命感を覚え、他の職種と共有して最善の医療を提供したい」「そのために、相手に合わせて聞き、伝える、といったコミュニケーション能力を身につけたい」等がほとんどの学生から挙げられていた。地域で暮らす人々と必要な時に支える保険・医療・福祉の専門職が連携をとって社会力を発揮するために、その当然の感覚の根っこを、実感をもって体験できる貴重な「医療学入門」である。

その実現が未来に花開いていくように、私たちは支え見守っていききたい。

Ⅲ 2023 年度活動報告

1. 医療人教育

医療人教育室では、医学・薬学・看護学の1年生が合同で学ぶ「医療学入門」授業のカリキュラムプランニングを担当しています。医・薬・看護の各領域の実務家教員による講義とともに、新入生医療学研修や心肺蘇生法講習、保健福祉介護医療施設における介護体験実習など、よき医療人としての基礎となる知識・体験が身につくようなカリキュラムとなるよう配慮しております。

また、学生に対し授業についてのアンケートを実施し、次年度のカリキュラム検討を行っております。

2023 年度 医療学入門授業内容

日程・ユニット		内容	講師・実施者
4月11日		イタイイタイ病資料館見学	教員・学務課職員
4月14日	医療学概論	医療学概論・オリエンテーション	医学部長・薬学部長・医学科長・看護学科長・高村
4月28日	新入生医療学研修	全体討論	新入生医療学研修タスクチーム
5月12日		心肺蘇生法講習	心肺蘇生講習タスクチーム
5月13日		立山研修	新入生医療学研修タスクチーム
5月26日	コミュニケーションとプロフェッショナルリズム	医療と社会	山口育子(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長)
6月2日		コーチング法	石木学(保健管理センター准教授)
6月9日・16日		医療倫理とプロフェッショナルリズム	宮島光志(応用倫理学教授)
6月23日	医療と社会	難病支援と難病患者の思い	富山県難病相談・支援センター相談支援員、患者様
6月30日		薬害再発防止のために	花井十伍(NPO法人ネットワーク医療と人権理事)
7月7日		医療人をめざす皆さんに望むこと	患者ご家族様
7月14日		あったか地域の大家族	惣万佳代子(NPO法人デイサービスこのゆびとーまれ理事長)
7月21日	早期介護体験実習	介護体験実習オリエンテーション	高村昭輝(医学教育学講座教授)
8月28日～9月15日		介護体験実習(期間内1週間)	
9月29日		介護体験実習事後グループワーク	武島健人(医学教育学講座助教)

2. 医療人教育室運営管理

1. 医療人教育室運営会議

2023 年度 医療人教育室運営会議内容

4月	令和5年度 医療人教育室室員について	11月	令和5年度 医療学入門成績評価について
	令和5年度 医療人教育室副室長の選任について		令和5年度 医療学入門アンケート集計結果について
	令和5年度 新入生医療学研修タスクチーム構成員について		令和5年度 介護体験実習アンケート集計結果について
	令和5年度 心肺蘇生講習タスクチーム構成員について		令和6年度 医療学入門講義について
	令和5年度 医療学入門について	3月	令和6年度 医療学入門講義日程について
	令和5年度 新入生医療学研修について		新入生医療学研修実施検討タスクチーム構成員について
	令和5年度 医療学入門早期介護体験実習について		新入生医療学研修について
6月	令和5年度 医療人教育室室員について	心肺蘇生法講習タスクチーム構成員について	
	令和5年度 新入生医療学研修事後アンケート集計結果について	令和6年度 イタイイタイ病資料館見学について	
	令和5年度 心肺蘇生オンライン講習アンケート集計結果について	令和5年度 医療人教育室運営費について	
	令和5年度 医療学入門早期介護体験実習について		

2. 広報活動

医療人教育室 2023 年度報告書を作成しました。

IV 2024 年度活動計画案

1. 医療人教育

医療学入門の教科担当

- ・カリキュラムプランニング
- ・成績評価
- ・授業アンケート
- ・新入生医療学研修タスク支援
- ・心肺蘇生実習タスク支援
- ・早期介護体験実習タスク支援

2. 医療人教育室運営管理

1) 医療人教育室運営会議開催

2) 広報活動

- ・ホームページによる広報活動
- ・医療人教育室報告書の作成

